

# 1 潮見小学校の教育

校長 惣田 正宏

## 【学校教育目標】

ふるさとで生まれ育ったことに  
自信と誇りをもち 未来を切り拓く  
潮見っ子



夢をもち、その実現に向け努力する  
潮見っ子を育成する



屋上から見えるふるさとの風景



〈90周年記念作成スローガン〉

## 【潮見っ子の目標】

しっかりとかがえ おもいやりのある みんななかよし 潮見っ子

### 1 学期始業式校長講話 潮見小学校をこんな学校にしたい！

校長先生はこの潮見小学校を「みんなが元気に登校する」そして「笑顔で下校する」そんな学校にしたいと思っています。そのために、みんなの「心がホットできる学校」を目指します。朝から、みんな頑張って潮見の坂を上りあがってきます。心が元気でなければとてもきついです。今日は、久しぶりにみんなに会える、新しい先生はどんな人だろう。担任の先生は誰かな。とワクワクドキドキしながら登校したことでしょ。毎日とはいきませんが、そんな期待や楽しみがもてる学校にしたいのです。

また、学校の授業や、先生や友達とのふれあいによって、満足して、笑顔で下校ができる学校にしたいのです。そのために、先生たちは「できた」「わかった」「やりとげた」がいっぱい充実した授業ができるように頑張ります。みんなは、友だちに「ありがとう」や「大丈夫だよ」「がんばったね」のふわふわ言葉をいっぱい使って、みんなの居場所があるほっとする学校にしてほしいと思っています。

みんなの「心がほっとする学校」とは、どんな学校でしょうか。みんなの優しさがある学校のことです。一昨年も昨年も同じことを言いました。みんなが一人残らず、そう感じられるまで何度でも言い続けます。校長先生は、心は入れ物だと思っています。楽しい授業やボカボカの学校で紹介されたような、やさしさやふわふわ言葉をいっぱい浴びれば、心の入れ物は元気の水で満たされていき、心が優しくなるばかりか、何でも頑張ることができる力がわいてきます。

反対に、どんなに頑張っても授業が分からなかったり、学級が楽しくなかったり、友達から「あっちいけ」とか「きらい」とか言われたりしたら、この元気の水は少なくなってきました。水が完全になくなってしまったら、笑えなくなり、学校に来られなくなります。私たちは 縁があって「潮見小学校に集まったかけがえのない仲間」です。みんな協力して、みんなの心を元気にする、ほっとできる、そんな学校にしていきたいと思います。校長先生は潮見小学校に残れたことを本当にうれしく思っています。また1年間 どうぞよろしくお願いいたします。



## 2 そのために こんな教育に力を入れています！

(1) 学力の充実 (しっかりかんがえる潮見っ子)  
【できた わかった やりとげた 学び体験】

「できた」「わかった」の笑顔あふれる授業と主体的に取り組む家庭学習の習慣化をめざします。

(2) 心の教育の充実 (おもいやりのある潮見っ子)  
【わくわく ときどき しんみり 感動体験】

自他を大切にできる教育と「わくわく、ときどき」体験により豊かな心を育みます。

(3) 協働する力及び忍耐力、健康・安全・体力面の充実  
(みんななかよし潮見っ子)  
【つながり ふれあい 笑顔あふれる 協働体験】

健康・安全・体力面の充実と「つながり・ふれあう」活動により、コミュニケーション能力と協働する力を育みます。

## 3 具体的な実践

(1) 学力の充実(しっかりかんがえる潮見っ子)について  
できた わかった やりとげた 学び体験

### ① 各種学力検査結果

○4・5・6年の佐世保市・長崎県・全国学力調査結果

○標準学力調査結果(同一集団の成長の過程を追う) ※標準スコアによる分析

4月・12月の学力検査への取組や結果の検証と学び直しを徹底し、次年度の校内研修へとつなげ授業改善を図っていくことを地道に続けています。

### ② 校内研修への取組

※本校児童の学力面の課題は、学級内での学力の2極化が学年が上がるにつれ顕在化しています。

これらの学力差・2極化は、個人に起因するものも大きいですが、教育環境の差やこれまでの経験の差によるものも大きいと考えます。どうすれば、児童の「学びに向かう力」を育成し、児童が積極的に授業に関わることができるかが本年度の研究構想の出発点です。

#### 研究主題

「学びへの意識を高くもち、みんなで分かろうとする潮見っ子の育成」  
～思考ツールを活用した協働的な国語科の授業づくりを通して～

#### 研究仮説

国語科の学習において、

① ねらいにつながる魅力的な課題や疑問の設定 ②思考ツールの活用 ③協働的な学習場の設定を行うことで、苦手意識を持つ児童も授業に関わることができるようになるだろう。

また、そのような授業を通して、児童の授業の満足感と次の学習への期待感が高まり、学びへの意識を高めることができるだろう。

## ○国語科における授業改善（授業力の向上）

- ・思考ツールの活用
- ・協働的な学習場面の設定
- ・児童の授業への満足感と期待感を測る意識調査を基にした授業づくり

※授業づくりにおいて、県や市の提案を意識する

### ○授業改善に係る提案

- ・長崎県授業改善メソッド
- ・「学び」をつなぐ授業改善 SASEBO
- ・「学び」をつなぐ授業デザイン SASEBO

### ○学習環境、学習習慣に係る提案

学びの習慣化メソッド

## ○学力の向上を支える学習環境づくり

- ・学習規律「潮見小学校の約束」の検討・作成
- ・家庭学習の充実「家庭学習の手引き」の検討・作成
- ・効果的な家庭学習の検討
- ・校内の学習環境の整備

## ○授業改善を検証するアンケートの実施と連動した業績評価の取組

～教育委員会学力向上本部会議の提案を共有～

- ・校内研修における授業改善の指標として児童アンケートを定期的実施。



## (2) 心の教育の充実（おもいやりのある潮見っ子）

わくわく ときどき しんみり 感動体験

※昨年度の取組

### ①いのちを見つめる講演会

～いのちのつながり～

写真家 松本紀夫さんによる「アラスカフォトライブ」

### ② 佐世保市大空襲平和学習

市民劇団「楽園天国」による 佐世保空襲の劇「ひいばあと雨」

### ③ 潮見小寄席（落語会）

～落語を楽しもう！～

佐世保市出身 三遊亭らっ好さんによる「落語会」

### ④ 系統的な福祉教育（佐世保市福祉協議会）

視覚障がい者・聴覚障がい者から学ぶ、

車いすバスケットボール体験（障がい者スポーツの理解）等

### ⑤ 薬物乱用防止教室とキャリア教育（佐世保市税関支署）

ストップ薬物と税関の仕事 麻薬探知犬の実演とハンドラーの仕事

### ⑥ 赤ちゃんふれあい活動 幼児教育センターとの連携事業

6年生児童が赤ちゃんふれあうことで育ちを考える。



アラスカフォトライブ



佐世保空襲朗読劇



潮見小寄席（落語会）



車いすバスケットボール体験



麻薬探知犬の実演



赤ちゃんとのふれあい

### (3) 協働する力及び忍耐力、健康・安全・体力面の充実 (みんななかよし潮見っ子)

つながり ふれあい 笑顔あふれる 協働体験

※昨年度の取組

- ① 学校一徳運動「きもちのよいあいさつ」の実践
- ② 春・秋の国道植栽  
19年間続く伝統行事  
学校・地域・保護者・国交省が連携して行う活動
- ③ 潮見っ子フェスティバル  
3～6年生が出店、縦割りで活動。
- ④ 子ども110番の家スタンプラリー  
コミュニティスクールとして、  
学校・家庭・地域・地元企業の協働による取組



あいさつ運動の実践



国交省との連携：国道植栽



潮見っ子フェスティバル



子ども110番の家スタンプラリー

